

「阿南市立小・中学校再編実施計画(修正素案)」に関するパブリックコメント回答

No	分類	意見の概要	回答
1	学校再編	学校運営の効率化、教職員の効果的配置の観点から、学校の統廃合や再編はやむを得ない。ただし、児童数や生徒数のみを統廃合の根拠とすることなく、「阿南市の将来を担う人材を育成する」という長期的視点を持ったうえで検討してほしい。	学校再編全般について ・学校再編は児童生徒の教育環境を更に向上していくためのものです。また、よりよい再編について考える時間を確保するために先延ばしにせず、早い段階から取り組んでいくことが大切です。そのためにも今後も必要に応じて説明会を開催する予定です。さらに計画の内容等についてわかりやすく説明できるように改善を加えながら取り組んでいきます。
2	学校再編	スピード感を持った対応が必要。各種団体が「今自分たちに何ができるか？」と考え行動することが将来の地域のためにもなると思う。移住の方と各年代別の地元の人が協力、交流することから、良い生活を考えるきっかけにもなる。	
3	学校再編	実施計画(素案)の説明会や出前講座はあったが、実施計画となつてからも説明会はあるのか。	
4	学校再編	子どもの教育のためとはいえ、長生小学校での説明を聞くと、結局大人の財政事情のためであるように感じる。	
5	学校再編	素案からの修正点について明示してほしい。	
6	魅力ある新しい学校	学校再編を教育理念の再検討の機会として、こどもたちが生き生きと地域と繋がりを持って過ごせる環境づくりを進めてほしい。	魅力ある新しい学校について ・市全体の教育理念として教育振興基本計画を中心に教育施策に取り組んでいます。新しい学校のビジョンは教育振興基本計画で示すとともに、具体的な学校像は学校長の考えを尊重します。教育委員会による教育環境の整備と校長による学校マネジメント、教員による教育手法の充実に取り組むことが必要です。特に授業内容等の教育手法については学習指導要領をもとに教員の創意工夫を反映していくことも大切です。これらを積み重ねていくことで、例えば、地域の人、自然、歴史、文化の宝を教育素材として地域の特色を生かした魅力ある学校づくりができると考えます。SDGs(持続可能な開発目標)を取り入れた学習についても総合的な学習の時間等で行われている学校もあります。小・中学校においても、多様性や
7	魅力ある新しい学校	自分の子育ての経験から、自分たちが生まれ育つ故郷に誇りを持ち、自然の恵みの中で伸びのびと成長できる子どもたちが育ってほしい。	
8	魅力ある新しい学校	学校全体でSDGsの授業を取り入れてほしい。	
9	魅力ある新しい学校	全国一律の文科省の政策から脱却し、阿南独自の教育、地域性も加味した教育環境・学校づくりを検討してほしい。	
10	魅力ある新しい学校	プールの民間施設の利用やスクールバスの導入など、子どもの体力低下が危惧される。車移動が当たり前の阿南市にとって学校での体育、体を使った活動は子どもの健康と成長に多大な影響を与える。もっと阿南の自然を利用した郊外活動を増やす、外部講師を呼ぶ、新しいスポーツを学ぶ等運動に興味を持つきっかけづくりを。	
11	魅力ある新しい学校	食や命の大切さ、生きる知恵を自然から学ぶ体験ができればいいと思う。学校給食での地元有機野菜の利用など。	
12	魅力ある新しい学校	今の山口小学校が地域と仲良く成り立っているのも、特性のある子も楽しく登校できる場をつくってほしい。	
13	魅力ある新しい学校	山口小学校では職業体験など、教科書では学べないこともたくさん学べているので、統合を進めていくことでこうした学びがなくなっていくか心配。	

No	分類	意見の概要	回答
14	魅力ある新しい学校	社会動態が転出超過になっているからこそ地域に根付いた教育が必要。少子高齢化が進む中でも町の歴史や風土の中で子どもが豊かに育つモデルを阿南市から生み出すことが大事なのではないか。	国際化時代に対応する教育に取り組み、小規模校で培ってきた良さを授業でのグループ学習などに生かした学校づくりを行うことが大切だと考えます。
15	魅力ある新しい学校	目指す方向(基準)について、指導方法、指導体制、施設設備の三面から市として達成すべき具体的な姿(基準)を記述してほしい。明確な基準があることによって、全地区で新しい学校づくりの議論を始められると思う。また、各校区において一貫した学校づくりの取り組みを行える。	
16	魅力ある新しい学校	育てたい4つの力と学習指導要領の「生きる力」との関係が不明。評価・指導に困難を来さないか。	
17	魅力ある新しい学校	子ども像について、「将来への夢や希望を持つ」という趣旨の文言を追記すべき。「未来の夢を実現する力」ももちろん必要だが、こちらも重要。また、「健康」や「体力」の文言も追加してほしい。	
18	魅力ある新しい学校	「確かな学力」の中に「社会力」や「生活力」を内包させることは無理があると思う。	
19	魅力ある新しい学校	修正素案は再編によるメリットばかりが強調されていて、デメリットの記述がない。またこれらの再編による効果は小規模校では実現不可能なのか検討された痕跡がない。	
20	魅力ある新しい学校	小規模であっても維持することを前提に運営形態の改善を図るべき。スクールバスの利用を進めると地域の魅力が低下する。	
21	教職員定数	公立学校の学級編制及び教職員定数については、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」によって定められている。行政はこうしたことも広く知らせることが必要である。児童数が減れば教職員定数も、法律により決まることなのである。	教職員定数について ・児童生徒数に応じて決定される学級数によって教職員数が決まる教職員定数という仕組みがあり、この定数を阿南市内の学校の教職員数の基本としています。児童生徒数が増えることにより教職員数が増える仕組みになっています。加配の増員については、国や県に要望を続けていきます。
22	教職員定数	学校を減らすことで生じた余剰教員を利用し、複式学級ができないよう、学年が混ざらないように人員配置をしてほしい。教育にも予算を。	
23	教職員定数	教員数については、統廃合による解決でなく、教員を増やす政策をとるよう県や国に意見の提示をしてほしい。	
24	教職員	特色ある魅力的な学校ということは、目の前の子どもと向き合う教員の日頃の素晴らしい教育実践の積み重ねの結果そんなことにもなるのであって、はじめから、魅力的な学校になろうとしてなれるものとは思えない。教員にはそんな余裕はない。そんな悠長なことは言ってもらえない。教員の働き方改革とか、勤務時間外労働といった報道が頻繁になされている。教員にかかる負担を考え、現実的対応をお願いしたい。	教職員について ・質の高い教育を行うためには教員の役割が最も大切です。特に教員の高い授業スキルは教育効果を最も高めるものです。そのためにも教員が働きやすい環境をつくる必要があります。
25	教職員	学校の先生の仕事を分担制にしてほしい。業務量、やる気、能力等の影響で人による感を強く感じる。先生、事務職員、部活の先生、保護者等で仕事を分担して、職務に集中できる環境を。	
26	教職員	再編による効果の「教職員を充実させる」を具体的に説明してほしい。定員法にすると、人数に限られるので現状と変化が無いように思う。	

No	分類	意見の概要	回答
27	少人数学級	再編による効果だけでなくメリットデメリット両方の洗い出しが必要。例えば人数が少ないことにより「個別最適な学び」が実現しやすくなる。また、例として挙げられているタブレット端末などの資料活用については小規模校でも日常的に行っている。山口小では現状不登校児童へのきめ細やかな対応ができており、形式的に統合してしまうことにはデメリットを伴う。	少人数学級について ・少人数学級であっても教育効果の高い複数のグループ学習ができる規模が望ましいと考えます。また、学校規模が大きくなっても少人数学級で培ってきた良さをグループ学習などに取り入れた授業を行うことは教育効果を高めることにつながります。
28	少人数学級	自分自身少人数の学校で育ってきたが学習環境は良かった。責任感や積極性、よき人間関係構築のほか、切磋琢磨についても少人数で行えており、団結力が大人数で作られるのか疑問。またスクールバスの問題もある。	
29	少人数学級	自分自身小規模校の出身であるが不便や不満を感じたことはない。むしろ教育の目が行き届いている点が素晴らしいと感じている。教育において小規模校が不利という学説があるのなら学術を発表した先生の名前や資料を示してほしい。	
30	複式学級	子どもの人数が減ってきたのは、今始まったことではなく、ずっと以前から減り続けいよいよ現在に至り将来を見越すと、複式学級という現実が迫ってきたということである。そこでどう対応するかということが問われている。学習環境優先で考えていただきたい。	複式学級について ・複式学級の場合、カリキュラムの編成が複雑となり、転入転出により児童生徒の授業の進捗状況が異なるなど影響が大きくなります。各学校では単学年で授業ができるよう複式学級の解消に努めています。
31	校区外就学	中学校の事実上の学区の撤廃について、学校間で人気や規模などの格差を生んでしまっているように思うのでルールを見直してほしい。	校区外就学について ・市は校区外・区域外就学許可要件に則って、就学許可を出しています。校区外就学をしている子どもたちは様々な事情があり配慮することが大切です。
32	中学校	再編計画の進め方、理念について賛成できる。ただ、吉井小学校が県内初の小規模特認校になることが注目されすぎている点が気がかり。加茂谷中学校の再編をいち早く進めるべきだと思う。人数が少なすぎることから、部活動選択や学校行事の選択、人間関係の構築において、他校と比べ非常に大きな制約がかかっている。今を生きる子どもたちのためにも早急な是正が必要。吉井小よりも加茂谷中の再編を優先すべき。ハードルも他よりも低い。	中学校について ・中学校の再編は将来の進路への影響等も考慮して取り組んでいきます。
33	経済的負担	廃校、休校を利用して、夏休みに旅行などに行けない家族を受け入れて自然体験をしてもらう。困窮家庭と一般家庭の差を埋める。	経済的負担について ・経済格差は児童生徒の教育効果等に影響するといわれています。学校再編による経済的な負担を軽減するよう努めます。
34	小規模特認校	学校再編の方向性として教育委員会が示した資料の中にも「児童生徒数を増やすことで、様々なグループを編成でき多様な友達との協働が可能となり球技や合唱、合奏のような集団学習に取り組んだり、グループ内で様々な考えや意見に触れ対話を通して互いの考えを深めたりしながら、よりよい学びに向かっていける」とある。当然こういう学校で学ばせたいという保護者の願いに応えなければならない。	小規模特認校について ・吉井小学校に導入する予定の小規模特認校は周辺の大規模校の学校規模適正化を図る役割があります。また、小規模を維持することを目的にしているのではなく、児童数を増やすことで複式学級を解消することを目指してい
35	小規模特認校	なぜ吉井小だけ小規模特認校なのか？新しい学校づくりの方向性の中で吉井小だけが取り残されてしまう気がする。	

No	分類	意見の概要	回答
36	小規模特認校	吉井小が一学級10名程度の少人数によるきめ細かな指導を魅力として打ち出すなら、市の提示している一学級の児童数を増やすことのできる新しい学校づくりの方向性とは学校の魅力としてとらえるものがまったく逆の方向性となる。新しい学校づくりが破綻して規模の小さな学校に転校していくことをめざすなら市内の学校でめざしていることの破綻である。市の魅力ある新しい学校づくりというのは、集団と個の関わりから学ぶものを大切にしていくということではないのだろうか？	<p>まず、学級規模は少人数学級であっても教育効果が期待できる複数のグループ学習ができる規模が望ましいと考えます。</p> <p>小規模特認校の導入が徳島県内初の取組として注目されることで転入による児童数の増加を期待できます。児童数の減少を止めるため小規模特認校の導入に迅速に取り組んでいき、関係者間で情報共有を行う必要があります。特に徳島県内初の取組となることから県教育委員会との情報共有にも努めます。</p> <p>小規模特認校の具体的な学校像については学校の主体性と教育委員会の支援を基に地域の協力を得ながら順次示していきます。小規模特認校の運用期間は最低でも5年間は必要で、入学や転入を希望する児童が増加するよう周知に努めることに加え、希望者への学校公開等も検討します。小規模特認校への通学については自己負担を原則にする考えです。</p> <p>教育効果を高める特徴のある学校固有の取組は小規模特認校だけでなく、すべての小・中学校において実践していく必要があるもので、常にその効果を検証していく必要があります。</p>
37	小規模特認校	通常のそれ相当の児童数のある学校で学ばせたいとする保護者にとって小規模特認校の存在はその願いを拒絶するものである。複式学級ではないそれ相当の人数の学校で学ばせたいとする保護者の願いは多くの人に共通の願いであり、当然尊重されなければならない。	
38	小規模特認校	小規模特認校という名前が一人歩きして、教職員の人員や予算についての要望を特別に受け入れてくれるかのごとく印象を地域住民に与えている。説明不足である。しかも、吉井小の現在に他校にはない何か大きな特色や魅力が備わっているとは言えない。これから特認校となり、特色のある魅力的な学校になっていくと言うことである。未来はそんなに簡単に占えない。	
39	小規模特認校	そもそも他地区から自分も、うちの子も行きたいという特色ある魅力のある学校にしていく主体は誰なのか、学校の教員にそんな余裕はないであろうし、教育委員会は教育の実践者ではない。地域住民にもそんな暇な人はいない。しかし、誰かがリーダーシップをとらなければなしえないことである。そしてそれは何年後に達成できるのか。小規模特認校という構想そのものに無理がないか。	
40	小規模特認校	子どもが地域外の小学校に通うことになったら加茂谷地域は衰退するのではなく、単に子どもが少なくなったことであって、それよりも今の現状を認識し、今できること、このような条件の中で、発展できるような方策をみつけ一つになって進めていくことが大切かと思えます。	
41	小規模特認校	小規模特認校というのは、それを目指して取り組むというのではなく、学校と地域が一体となった日々の取り組みが積み重なって一つの成果となって具現化した結果としてないうるものである。学校再編の機会をとらえて活動し始めるのは、安易ではないか。	
42	小規模特認校	阿南市の恵まれた教育資源(自然環境、歴史的遺産等)の活用、地域コミュニティの交流・防災拠点としての利用など、学校の存在の必要性は大きいので、学校選択制や小規模特認校の導入等を通して、学校配置のあり方について多角的な検討をしてほしい。	
43	小規模特認校	なぜ吉井小だけ小規模特認校として、小規模が維持されるのか。「吉井小学校をのこしてほしい」という声が大きかったからなのか。今後吉井小学校に入学する児童の保護者、加茂谷在住の保護者の声は確認できているのか。地域の声は大事にしてほしいと思うが、何と云っても保護者の声を尊重してほしい。	
44	小規模特認校	地域の人には地域活性と吉井小の存続については切り離して考えてほしい。吉井小がなくなると地域が廃れるとは思わないし、それよりも、そこに暮らす児童が生き生きと張り合いある学校生活を送れることのほうが大切。校舎を利用して土曜日には郷土教育や歴史教育、日曜日には全町運動会を行う、中学生は学校に要請して部活動を免除していただくと思う。	
45	小規模特認校	小規模特認校の取り組みについて、具体的なものはなく、「特色ある、魅力的な学校となってほかの地区から児童が呼び込め、複式学級が解消される」という思惑が見えるように感じる。「試行実験中」の学校での学びが児童の学習環境をないがしろにするものなのであれば、吉井小学校はすぐに休校とし、大野小と統合すべき。	

No	分類	意見の概要	回答
46	小規模特認校	吉井小の小規模特認校としての存続について、この地域の特色を生かした魅力ある小学校とはどんな学校なのか。自然体験、野菜、稲作体験、歴史遺産の学習等によって他地区からの児童の呼び込みがどれだけ可能なのか。計画に無理があるように感じる。いち早く大野小との統合を。	
47	小規模特認校	吉井小学校の小規模特認校制度に反対、大野小との統合を希望。コミュニケーション能力や判断力等の能力の向上や、学習体験の充実、意欲向上など、人数が多いクラスのメリットは多い。	
48	小規模特認校	第一期の小規模特認校化により大野小学校との統合が遅れる間、吉井小学校で学ぶことになる児童及びその保護者は複式学級を受け入れなければならないのか。吉井小学校の築年数よりも小学校区の児童の学習環境改善を優先すべき。	
49	小規模特認校	これから子を産み育てようとする若者にとって吉井小学校を小規模特認校として残すことは歓迎されるのか。学校再編計画の影響を最も大きく受ける若い世代の声は特に耳を傾ける必要がある。	
50	小規模特認校	複式学級を甘受して吉井小児童は魅力ある新しい学校づくりから取り残される。小規模特認校化は複式学級問題の解決策になりえる確証はないが、大野小と統合がなされれば確実に複式学級問題を解決でき、阿南市の魅力ある新しい学校づくりとの整合性も保てる。	
51	小規模特認校	吉井小学校の小規模特認校化に賛成。ただし、「主体性」と「当事者性」を取り入れた教育を大切にしてほしい。	
52	小規模特認校	学校間での交流の機会(課外授業、交流会等)を設け、吉井小学校の良さを実際に見てもらってアピールすると良いと思う。	
53	小規模特認校	加茂谷小中学校ともに地域に残してほしい。地域には義務教育を行う学校が必要。特に吉井小学校は特認校としての可能性があり、熱意のある有志住民もいるので、官民協力・協働して前向きな学校づくりを進めてほしい。	
54	小規模特認校	小規模特認校にするにあたり、適切な校長先生を配置してほしい。引継ぎが大変なので、任期10年で。	
55	小規模特認校	小規模特認校では働きたいという希望・要望の教員たちを配置してほしい。個人の希望を重視。	
56	小規模特認校	学校内の教育プログラム企画など、地域の人びとの提案をできるだけ受け入れ検討するなかで、官民他機関・教育専門機関が協働で作りに上げていくシステムの構築が必要。人が替わっても機能するシステムの創造、そのシステムを構築するための組織の結成、小規模特認校を創るにあたっての事務局・コーディネートする(社会教育士?)人材が必要。教育委員会の考えは?	
57	小規模特認校	小規模特認校を目指すにあたり、教員、IT専門家、事務職員などの教育専門家など、適切な人材が必要。教育委員会、市の行政が無理だというのなら、県に要望と一緒にいきたい。	
58	小規模特認校	小規模特認校に通学する生徒に交通費用を支給することを検討してほしい。	

No	分類	意見の概要	回答
59	小規模特認校	広告活動として色々なツールから発信アピールを。できるだけ阿南市の行政としても検討してほしい。	
60	小規模特認校	吉井小学校は小規模特認校として存続させてほしい。	
61	小規模特認校	いまだに小規模特認校への誤解があり、認知不足を感じる。イメージアップに名前の変更や、メディアの利用といった更なる告知活動が必要。広報だけでは不十分。	
62	小規模特認校	小規模特認校の基盤をつくるためにも人員確保、費用捻出に力を入れてほしい。	
63	小規模特認校	吉井小学校の小規模特認校制度を導入し、「おもしろい学校をつくろうの会」が中心となって動くことで、学校、児童、住民の横のつながりが強まり、加茂谷地域が活性化していくことを信じる大人が増え、子どもたちが楽しく生きやすい地域社会をつくることができる。	
64	小規模特認校	加茂谷は自然も人も豊かなので、地域外、学区外から様々な要因で弱い立場にある児童を積極的に受け入れる体制を作っていくことができる。	
65	小規模特認校	吉井小学校の小規模特認校制度について ①運用までに時間がかかるとますます児童数が減少してしまう。 ②運用が始まってから、他地域から通う児童が出てくるといった効果が出るまで5年以上の時間がかかると思う。 ③特色のある学校にするには市や県から相当の支援が必要。	
66	小規模特認校	吉井小学校や加茂谷中学校など、加茂谷の子育て環境に満足している。そのため、吉井小学校だけでも小規模特認校として残してほしい。そのための予算についても市に協力してほしい。	
67	小規模特認校	再編計画実施のため、教育委員会への予算の加増が必要。また、小規模特認校制度の実施のため、県教委との連携協力も必要。	
68	小規模特認校	小規模特認校の実施のためには、今すぐ市教委中心に具体的な学校像を創る必要がある。	
69	小規模特認校	小規模特認校としての吉井小学校の取り組みを県下、全国にPRしていくことで児童を確保すべき。また、小規模特認校加茂谷学園として、1～9年生まで受け入れると、一中、阿中、羽中など他の学校に行きにくい子も登校しやすくなるのではないかと思う。	
70	小規模特認校	吉井小学校の特色ある学校づくりは具体的にどうするのか。全く見えないので、もっとスピードアップしてどんな活動を進めるのか可視化してほしい。資料がなくてはアピールもできないので。	
71	小規模特認校	小規模特認校の取り組み内容については、トモエ学園、椎の木学校、トエックといった学校の取り組みを見て、独自の学校づくり、人づくりのモデルを形成してほしい。	
72	小規模特認校	国際化時代に応じた教育方針の記載がない。吉井小学校で、ネイティブと英語やボディランゲージで交流しながら農業体験を行うなど、ユニークな取り組みを取り入れてほしい。	

No	分類	意見の概要	回答
73	小規模特認校	吉井小学校が小規模特認校になるのはとても良いと思う。地元の有志が会を立ち上げ、個性や特徴のある教育を行う学校を作り上げていくのは、子どもたちにとっても意義のあること。	
74	小規模特認校	小規模特認校の詳細については今後市が主導で教育方針などを定める計画を策定するのか。徳島県下初の導入なので、絶好のPRの機会として、プロジェクトチームを立ち上げるなど体制強化して取り組んでほしい。	
75	小規模特認校	再編による効果が大きく掲げられているが、小規模特認校ではそれらを受容できないというように受け取れる。デメリットを補い、メリットさえ生むような先進的な取り組みが必要。	
76	小規模特認校	小規模特認校に関わる予算や教員の配置が想定されていないというが、それは制度導入の気概に対して消極的すぎる。特段の配慮がなければ「再編の効果」を子どもたちは享受できず、PRポイントともなりえない。現状は地域住民の自発性への負担が大きすぎるので、努力を無駄にしないための取り組みを求める。	
77	小規模特認校	阿南市総合計画において移住定住、交流人口の増加を掲げているので、子育ての充実及び突出した特徴を持たせてほしい。どんな学校であれば自分の子どもを居住地外の学校に通わせたいと思えるか、という視点を持って学校づくりに取り組んでほしい。	
78	小規模特認校	小規模特認校に反対。計画通りうまくいか分らず、成功したとして市の掲げる「子ども中心の学校」を実現できるまでの規模を集められるのか疑問。複式学級ではまっとうな学習環境を用意できず、成果を見出すまでの過渡期に学ぶ児童の学習環境を蔑ろにしている。よって、吉井小学校はいち早く大野小学校と統合すべき。	
79	教育予算	吉井小学校の小規模特認校化にあたって、特色ある学校づくりのための費用が必要。阿南市、または徳島県として独自の予算を付けてほしい。	
80	学校再編検討会	水雪に強い、校舎の築年数が浅く比較的きれいな校舎である、という点から、山口小学校と桑野小学校の合併については、山口小学校の校舎の利用を検討する余地があると思う。	
81	学校再編検討会	教育事務に関しては、不可欠であるため、可能な限り引継ぎとして有効活用してほしい。	
82	学校再編検討会	校舎、通学についてなど、統合に対するデメリットを知らない人が多いと感じる。事前にはっきりと欠点も含めて説明しないと、動き出してから不満が生じてしまう。	
83	学校再編検討会	山口保育所の廃園は市政で決められた。地元の納得はないままでいいのか。	<p>教育予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての学校の教育内容が充実するよう学校間の予算配分に配慮する必要があります。 <p>学校再編検討会について</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校再編検討会は学校再編について関係者の様々なご意見をお聴きし検討していく会です。また学校再編検討会の設置方法については、最初に学校の保護者で立ち上げた上で、地域住民が参加できる機会を設ける予定です。関係者が対話し考える時間を確保するためには、学校の実情に応じて学校再編検討会を早期に設けていく必要があります。早期に検討することで、校舎の老朽化などの将来的な課題についても早い段階で対応することができます。また学校の再編のプロセスは丁寧に進めていき、検討会では、学校再編のデメリットにつ
84	学校再編検討会	統合における校舎の決定については、人数でなく、新しさ、安全面を重視してほしい。	
85	学校再編検討会	保育所がなくなり、小学校もなくなるとなると地元の活気がなくなると思うので少人数でも残してほしい。	

No	分類	意見の概要	回答
86	学校再編検討会	山口小は、児童数は前から少ないが、減り方はなだらかなのでもう少し残してほしい。	いても説明していきます。
87	学校再編検討会	児童減少による統合は納得できるが、桑野小学校の建物事情を考えると山口小学校をただなくすのは理解できない。校舎が比較的新しいので考え直してほしい。	
88	学校再編検討会	山口小学校は建替えされている一方、桑野小学校は大雨で水に浸かり、車の出入りも不便。校舎は山口小学校のほうが良いと思う。	
89	学校再編検討会	再編による効果についてデメリットの説明も必要。教員の分配、財政等の面からも説明が欲しい。逆に少人数～中人数のメリットもあるのでは？(桑野小学校の生徒の半数を山口小学校にするなど)	
90	学校再編検討会	人口が減少する地域であるが、学校を統合していくよりも残していく努力をすべき。	
91	学校再編検討会	保育所の休園については地元ではほとんど知られていなかった。説明不足。	
92	学校再編検討会	山口小学校のほうが建物が新しい。桑野小学校は校舎が古く、交通の便が悪い。さらに大雨にも弱い。合併の際には内田という地区に建ててほしい。	
93	学校再編検討会	山口保育所の閉所は地元は何も聞いていない。閉所になってしまうと児童が0になってしまう。地元をないがしにしている。	
94	学校再編検討会	校舎は古くない、児童数は一定数いる、自然が豊かで学ぶ環境としては良好、また地域住民が学校行事に参加するなど地域との繋がりの強さを考えると、統合の必要はないように思う。	
95	学校再編検討会	山口小学校の方が20年近く新しく、立地もよい。	
96	学校再編検討会	第一期再編は桑野、山口だけでなく、生徒や父兄ともつながりのある現二中地域(桑野、橘、山口)であるのが望ましい。	
97	学校再編検討会	再編が決まってからの移行期間があった方がよい。1年生が卒業するまでの6年間。	
98	学校再編検討会	校舎位置は山口小学校の方が良い(校舎、体育館が新しい)。	
99	学校再編検討会	桑野小学校には水道水の問題が未解決のまま残っている。毎年何度も断水している現状を克服できるのか不安。	

No	分類	意見の概要	回答
100	学校再編検討会	山口保育所を地元になんの説明もないまま閉鎖したことに反対。きちんと納得のいく説明を市が直接行うべき。	
101	学校再編検討会	山口小学校の存続を希望。理由は4つ。 ①教育方針が素晴らしく、学校が地域のシンボルとなっている。 ②通学手段の問題があり、防犯・防災面で心配。 ③山口小学校がなくなると山口で住む若者が減り、限界集落化に拍車がかかる。 ④学校の統合策よりも若者が地域に定着するような環境づくりが優先して必要。	
102	学校再編検討会	中学校で部活動の地域移行が模索されている中、児童クラブでもスポーツクラブ、文化クラブ等の基礎的なものを取り入れて良いと思う。	
103	学校再編検討会	再編計画ありきでなく、地区住民への丁寧な対応をしてほしい。	
104	学校再編検討会	子どもや生まれてくる孫のためにも山口小学校はぜひ残してほしい。	
105	学校再編検討会	山口小と桑野小が統合すると不便になり、子どもの負担になるので現状維持を希望する。	
106	学校再編検討会	山口小は児童数は減っているものの、まだまだ校舎は新しく、スクールバスが親子への負担になると思うので統合は反対。存続希望。	
107	学校再編検討会	保育所が知らない間になくなってしまい、さらに小学校までなくなると困る。	
108	学校再編検討会	小学校もなくなると地域の活気が失われてしまう。保育所は知らないうちになくなっていたので説明がいる。	
109	学校再編検討会	山口小学校の存続を希望するが、経済面と子どもの教育面から統合を考えてほしい。	
110	学校再編検討会	簡単に統合してしまうのは先代の苦労や思い出を全てなくしてしまうことになる。今でも山口町の人びとは学校行事を楽しみにしているので、これらがなくなるのはとても残念。是非存続を。	
111	学校再編検討会	桑野小校舎よりも山口小校舎は新しい。また、山口小ではPTA会費のほかに地域住民から賛助会費として毎年寄付を集金しており、施設整備を充実させている。子どもの数が減っているからといって簡単にほかの学校と併せさせないでほしい。	
112	学校再編検討会	学校再編を前提とせず、地域やそれぞれの学校の教育活動の実態や傾向を把握し、阿南市のこれからの教育について市民の民意も交えて検討すべき。老朽化問題と一緒に片付けてしまおうとするのはよくない。住民が納得する形で学校再編はあってほしいし、やるからには必ずどの地域にも今以上のメリットがなくてはならない。このメリットとは今まであった住民の活力のもとを失わない手立てである。	

No	分類	意見の概要	回答	
113	学校再編検討会	統廃合について「知らなかった」「いつ説明会をしてくれるのか」という声が想像以上に多い。地域のリーダーの人にも話が伝えられておらず、広報不足といえる。多くの阿南市民の意見や将来への期待を受け止め、生かしていく内容であってほしい。		
114	学校再編検討会	2月の説明会を聞いたが、もう決定したかのような内容だった。国や県の指示に仕方なく従っているように聞こえた。また、再編の目的は学校をなくすことによる経費削減のためなのに、子どもたちのためだというメリットにすり替えているように聞こえた。過疎化を進行させたい計画と感じ、残念。		
115	学校再編検討会	検討会(仮称)の人選は地域の代表も含めて地域に任せるのがよいと思う。PTA役員は毎年変わり、現在の保護者の合併等の話し合いが整うまでに複数年を要すると考えられるため。		
116	学校再編検討会	現校舎はまだまだ利用可能であるだけでなく、地域住民の熱い思いと援助でスタートしたので「地域の学校」の意識が非常に高い。学校を地域核として全力で支える体制が息づいている。大規模校には小規模校にない教育力があるが、小規模校にも一人ひとりの成長を細かく見守り育てる良さがある。小学校がなくなった地域の様子を耳にすると、地域全体が急速に寂しくなり、活力がなくなっている。		
117	学校再編検討会	山口小の存続を希望。		
118	学校再編検討会	山口小は比較的新しいので、まだまだ施設として利用できる。加えて児童数減少も山口小のほうが少なく、スクールバスの利用も考慮すると、今後児童数が減少していくことを考えると統合後の施設は山口小の規模でいいのではと思う。		
119	学校再編検討会	山口小の存続を希望。		
120	学校再編検討会	桑野小よりも校舎が新しいので、桑野小の児童がスクールバスで山口小に来れば良いと思う。		
121	学校再編検討会	地域コミュニティーの拠点として、山口町の明るい未来のためにも山口小学校はなくてはならない。存続は切なる願いです。「地元で学ぶ権利、母校を子供から奪うな」という声をあちらこちらから聞く。		
122	学校再編検討会	再編資料には児童数が増えることのメリットのみが列挙されていたが、小規模校にも小規模校ならではの良さがある。様々な理由で学校にいけない児童を温かく迎えることができるのは小規模校の大きな役割。		
123	学校再編検討会	学校再編検討会の立ち上げはいつか、誰がそのメンバーに加わるのか、メンバーの選定者は誰か教えてほしい。また、大井地区の代表者を必ずメンバーに加えてほしい(大井小が既に休校になっており、地域の変化をよく知っているから)。		
124	学校再編検討会	第一期で統合されるとした津乃峰小学校、山口小学校、福井小学校は生徒数から判断して、拙速に統合されるべきとは思えない。特に津乃峰小学校は第一期中で児童数が変化しない。小規模でも素晴らしい独自の学校づくりをしている学校はいくつもあるので、人事をはじめとした学校の現状の刷新を行ってほしい。		
125	通学手段	『公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引の策定について(通知)(平成27年1月)』が計画の基礎となっていると思うが、統廃合の一定の基準は設けられているが、絶対条件ではないはず。パブリックコメントの意見等を参考に再編対象校を設定したとあるが、市としては距離的に実現可能とみているのか？		通学手段について ・転居することなく現在の住居地で安心して暮らせるよう必要に応

No	分類	意見の概要	回答
126	通学手段	通学手段については、スクールバスの検討も上がっているようであるが、樺泊と桑野の小学生が同じ校区になるのが現実的なのかイメージがつかない。通学のタイムスケジュール等の資料があればわかりやすい。(今後必要にはなると思う。)	<p>じてスクールバスの導入を検討します。また、遠距離になる学校再編ではスクールバスが重要な通学手段となると考えます。また、将来的に住民の方々の混乗等、スクールバスの運行に支障がない範囲で有効活用する方法を検討します。混乗することで児童生徒が地域住民と交流する機会になることも想定されます。それぞれの学校の具体的な通学手段については、地域によって環境が異なるため、学校再編を検討する学校再編検討会で示していきます。スクールバスの運行では児童生徒の負担軽減や途中下車等の体力低下防止策、家庭の負担軽減に取り組んでいきます。スクールバスは幹線道路を中心に運行することを前提に通学時の交通安全や交通渋滞の緩和、道路環境について市長部局と連携していくことも必要です。</p>
127	通学手段	現状の通学でも親の自家用車による送り迎えについて容認されているのか、校門や周辺施設の混雑ぶりは、徒歩や自転車通学している生徒にとって、大変危険な状況となっていると思われる。学校統合によってこの傾向はますます高くなると考えられ、様々な通学手段を考慮した上での対策が必要かと思う。	
128	通学手段	スクールバスの導入は賛成だが、既存のバス路線を利用して、一般乗客との乗り合いで通学をすることで、一般乗客との触れ合いによる社会性を身に付ける取り組みを検討してほしい。児童・生徒と一般乗客が関わりを持つことは地域公共交通の確保に繋がり、補助を受けている事業者は阿南市の取り組みに協力する義務があると考えられる。同時にバスによる通学での問題防止のための通学支援の担当者の配置をお願いしたい。	
129	通学手段	加茂谷地区は現状でも親の送り迎えの負担が大きい。一中地区と合わせるとなると、時間的拘束と交通費の増大がさらに深刻化する。無理がある。	
130	通学手段	桑野小学校前が大雨のとき浸水するので怖い。	
131	通学手段	桑野小学校前が大雨のとき浸水するので怖い。東の入り口が狭いのも気がかり。	
132	通学手段	桑野小学校の交通事情が悪いので、通わせるのが不安。	
133	通学手段	スクールバスでの通学について学校周辺の交通状況等を詳細に検討されているか気になる。	
134	通学手段	桑野小学校への通学路は危険が多すぎる。山口小学校を残してほしい。	
135	通学手段	スクールバスの導入については、家の近くまで来てもらえるのか気になる。	
136	通学手段	スクールバスは無償が絶対条件。市の学校統合の身勝手な判断により通学に費用が発生するのであれば不平等。	
137	通学手段	桑野と合併すると、徒歩通学が不可能になり、スクールバスが来るまで待たないといけなくなる。	
138	通学手段	阿瀬比から桑野小まではかなり遠く、スクールバスだとかなり早い時刻に出発することになる。保護者の送迎なら交通渋滞がひどくなるのが想定される。小学校がなければ山間部の人口流出に拍車をかけることになる。児童数が少なく、複式になったとしても山口小は存続してほしい。	

No	分類	意見の概要	回答
139	通学手段	通学手段について、具体的な場所と時間を指定しないと議論を進められない。	
140	通学手段	スクールバスの運転手の採用時に「子ども性暴力防止法」に基づき性犯罪歴の有無の確認がとれるのか。	
141	制服	制服・体操服の完全統一は四年後以降とし、再編後三年は再編前の制服・体操服を着用することを自由としてほしい。心情的、経済的負担の軽減を。	<p>制服について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制服については様々な形態があります。既に市立小学校で導入実績のある自由服や他自治体のジェンダーフリーに対応した共通の標準制服の事例も参考にします。制服の新調などの経済的負担を配慮するとともに共通の標準制服の導入も検討する必要があります。 <p>ケアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的偏見はあってはならないことで、その解消に向けて真摯に取り組んでいきます。児童生徒のすべてがかけがえのない個性を持っており、すべての児童生徒へのケアに取り組んでいきます。児童生徒のウェルビーイング(幸福感)を大切にし、学校再編への児童生徒の不安を和らげることができるよう交流学習等を行います。また、児童生徒だけではなく学校再編による喪失感について地域住民の方々にも配慮することが大切です。そのために地域の取組や生活への影響等について共有ができるよう対話を重ねていきます。
142	制服	この編成統合を機に標準服を導入してはどうか。	
143	制服	統合するのであればリスクは市が全負担してほしい。制服・体操服の変更等。	
144	ケア	学校編成を機械的に行うと、児童が新しい学校に足が向かなくなってしまうたり、地域とのかかわりが薄くなってしまったりする心配がある。休校後も、バスなどで自分たちの住んでいる地域を巡る学習を行うことや、多人数での学校で適応しにくい児童のためにフリースクールを準備する等、配慮が必要であると思う。	
145	ケア	とある地区の説明会ではNIMBY(Not In My Backyard)的な発言もあったと聞いている。思想の自由は認められる権利はあるが、社会的偏見が児童達に向けられるのは間違っている。住民への説明会というよりは学習会のようなものが必要だと思う。通常住民への窓口といえば、民生委員等が考えられるのではあるが。	
146	ケア	障がいを持つ子供に対する対策等は検討されているのでしょうか。障がい千差万別で様々な状況が想定されると思えるが、学校の統合に関して不安に感じておられる家族もいると思う。	
147	ケア	再編後に教育格差が生じないよう、再編時期の調整、あるいは再編に向けて事前に教育委員会による教育サポートを検討してほしい。生徒会の下部組織として、各種取り決めや長期休暇前の注意事項の確認などを行う地域別の会を作してほしい。	
148	ケア	夫や子供が卒業生で、孫も通っているのに、山口小学校が廃校になるのは淋しい。	
149	ケア	一番の当事者は子どもたちなので彼らに意見を聞いてほしい。環境が変わることで学校に行きにくくなる子がいないか心配。	
150	ケア	時代の流れで統合・休園は仕方ないが、地元としてはどうしても淋しいし悔しい。	
151	ケア	児童は山口小学校に期待を持って入学した。そのため、児童自身が「山口小学校で卒業したい」と強く思っている。児童の意志を無視して統合するのはよくない。	

No	分類	意見の概要	回答	
152	ケア	150年続いている山口小をできる限り存続させてほしい。		
153	ケア	合併がやむを得ない場合、在校生及び地域の心情を考えた施策をお願いしたい。		
154	ケア	移行準備期間を設け、2校間の交流授業等スムーズな合併を考えてほしい。		
155	ケア	教育環境の変化や長時間の通学など、統合による子どもたちへの大きな影響が心配。		
156	ケア	小さな子供からパワーをもらいたいため、にぎやかさがなくなるためにもぜひ残してほしい。		
157	ケア	長年親しんできた学校がなくなるのはさみしいので、存続してほしい。		
158	ケア	子どもたちのにぎやかな声が聞けないのは寂しい。		
159	ケア	山口小学校の存続を希望。子供たちの毎朝の挨拶に元気をもらっているので、なくなると悲しい。		
160	ケア	山口小は、自身と子供3人の母校なので存続してほしい。		
161	ケア	山口小は、自分の母校でもあり、子どもや孫も縁がある。沢山の思い出のある学校なので次の世代へと長く続いていけるよう願う。		
162	ケア	3人の子どもたちがお世話になるなど良い思い出のある学校。山口小を残してほしい。		
163	ケア	地域が日々衰退してしまうのは寂しいのでできる限り山口小を存続してほしい。		
164	地域への愛着	山口の子どもが桑野に行くようになると、子どもの地元愛は育たないと思う。		地域への愛着について ・児童生徒たちが地域外の学校へ通学することになっても地域へ関心を持てるように、社会教育の充実や学校教育との連携に取り組めます。寄せられたご意見の
165	地域への愛着	保育所・小学校がなくなることで若い世代が居住しなくなってしまう。桑野と合併してしまうと徒歩通学が不可能になる。		

No	分類	意見の概要	回答
166	地域への愛着	山口小の存続を希望。若者や子育て世代が住みやすい環境だと思っほか、統廃合が起こると更に少子高齢化が進み、山口から若者がいなくなるのでは。	中にあった学校に地域別の傍示会等を設ける取組は、児童生徒たちの地域への愛着を高める可能性があります。
167	地域の活性化	地域活性ということは、地域の特色を生かした産業をおこすことや地域が魅力あることに基づく移住者の呼び込みということが考えられるが、何より自身の子や孫が地域に残ることが源流となっほしいことである。地域の住民が足下から取り組み、進めていくべきものである。	地域の活性化について ・ 地域を活性化するために地域住民と行政の協働体制が重要です。特に再編後、廃校とする学校施設を有効に活用ができるよう市長部局との連携が重要です。また、教育分野においては、地域の魅力を継承していくための社会教育の充実が重要になります。各世代が交流できる機会を設けることも教育の役割の一つです。そのためにも社会教育と学校教育が連携することも欠かせません。また、地域文化の継承は社会教育と学校教育の連携に加え、文化行政が連携することで、更に効果を発揮すると考えます。これからも地域全体で子育てする環境が広がるよう、ご協力をお願いします。
168	地域の活性化	休校になった学校の利用について、話し合いが無駄になってしまわないようにする必要がある。他府県では休校後の4月から、教育委員会から手を離れて何もできないらしい。	
169	地域の活性化	生徒児童は今後減少する一途となっている。そうなる前提での対応の検討策があっほいいと思う。学校に通う通学時間が長くなっほならないような町を形成するような条例等。	
170	地域の活性化	地域社会との連携について、現状、阿南市にはスポーツや文化の活動組織が多くあり子供達も参加しているケースもあると思う。ただその活動と学校とで連携している話はあまり聞かれない。いまのパワーワードが阿南市ではあまり聞かれないように感じている。	
171	地域の活性化	阿南市が過疎化を進めているように思う。	
172	地域の活性化	山口小がなくなると地域に元気がなくなる。	
173	地域の活性化	この流れで行くと若者の人口流出が進み高齢者のみが残される。	
174	地域の活性化	両校ともに似た時期に建築されているのであれば両校を運用すべき。児童数がゼロでないのにわざわざ統合する意味がわからない。空き校舎は放置されてしまうのか。	
175	地域の活性化	合併後の校舎の利用を確定させてからの合併を望む。	
176	地域の活性化	合併後は、山口小校舎をフル活用し、他市町村に先駆けた放課後児童クラブの官民一体となった運営を考えてほしい。	
177	地域の活性化	山口小学校がなくなると地区がますます過疎化する。存続して地区が活性化する方法も考えてほしい。	
178	地域の活性化	山口小学校はできれば残っほしてほしい。このままだと寂れていくので、活性化の方法を考えてもらっほいたい。	
179	地域の活性化	学校がなくなっほことは将来地域がなくなっほことにつながる。母校はぜひ残っほしてほしい。	

No	分類	意見の概要	回答
180	地域の活性化	生徒数が少なくなっても小学校は存続してほしい。さびれてしまう。	
181	地域の活性化	小学校がなくなると地域がさびれてしまう。	
182	地域の活性化	保育所に加え山口小学校もなくなると地域の活気がなくなってしまう。是非存続を。	
183	地域の活性化	人口増につながるような施策を阿南市独自に取り組んでほしい。	
184	地域の活性化	「地域との協働」や「地域の意見」の「地域」や「地域の代表」は誰を指すのか。その地域の活動特色を把握し、協議する仕組みが必要だと思う。	
185	地域の活性化	山口小がなくなると地域に元気がなくなる。	
186	地域の活性化	学校がなくなることは、子どもがいなくなり伝統行事もできなくなってしまうので、町の存続の問題。再編ありきなら、跡地利用について説明してほしい。	
187	地域の活性化	現在休校にしている施設をどうするのか。今までもそのまま朽ちていくのを待っている状況。	
188	地域の活性化	市内の人口推移を規定事実としているが、人口政策、地域振興は教育委員会部局だけでは不可能なので、産業政策を市長部局、市民とともに作り上げてほしい。	
189	地域の活性化	小学校の存在は地域づくりにおいて不可欠の存在。学校再編問題について教育部門の都合だけに注目するのではなく、部門の壁にとらわれず組織全体で課題とすべき。地方自治に対して無責任に思う。	
190	地域の活性化	子供の数が減っているのは市の責任であり、対処療法のように学校の整理を行ってはますます地域人口及び子どもの人口を減少させてしまう。人口の増減という現象だけでなく、その仕組みや経緯、責任の所在といった部分までの考慮が足りていない。	
191	地域の活性化	現在の阿南市をリードする日亜化学を作り育てたのは市南西部なのだから、これらの地域に最も繁栄や人口増加、子どもの数の増加が還元されるべき。整理地域とされるのはおかしい。	
192	地域の活性化	現状の阿南市は数の多い地域(沿岸地区)が十分に全体をけん引しているとはいえ、極端に言うと、市南西部の活動があることではじめて一部地域の子どもの数の維持ができています。よって、「阿南市総合計画」といった上位計画も含めて市南西部を重視し成長策を講じるべきだ。	
193	地域の活性化	説明会に2回参加したが、まちづくりの視点が一切ないことが問題だと思う。地域共生課なども伴って説明するなどすべき。	
194	地域の活性化	少子化だからといって何もかも縮小方向では、末端の地域では少子化が加速してしまう。	
195	地域の活性化	学校がなくなるということは長い目で見ると間違いなく過疎化につながる。非常に悲しい。	

No	分類	意見の概要	回答
196	防災	編成には利点があるが、先々のフォロー体制の整備をまず行ってほしい。避難所としても利用することを考えると、たまに利用する施設(コンサート会場等)よりも常に利用する施設であってほしい。	<p>防災について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害への安全対策について、すべての人々の安全を前提とし南海トラフ大地震への備えや住居地の災害に対応した避難場所の確保等ができるよう市長部局と連携します。
197	防災	南海トラフ地震を想定し、被害が想定されていない山口小学校をきちんと残しておくべき。	
198	防災	再編による効果について疑問あり。地域活動の拠点となったとしても、無人となると災害時の利用が不安。廃校となったあとの小学校跡の利用方法は地域住民全員と協議・確認を事前に行うべき。	
199	防災	南海トラフ地震の津波被害を想定し、安心安全の大前提のものと学校立地、施設整備を行うことの記述がほしい。	
200	防災	小学校が廃校になることにより近くに広い避難所がなくなってしまうのではないかと心配。	
201	防災	防災面では、山間の小規模校が避難生徒の臨時の受け入れ先となることも想定しておいた方がいいかもしれない。	
202	施設	<p>羽ノ浦小学校の寿命とメンテナンスについて、R5年の説明会で寿命が80年と聞いたが、これまで・これからのメンテナンスのデータ(ペンキ、配線、コンセント、水道、水回り)について教えてほしい。不可能なら、当初の計画通り50年で建て替えるべき。</p> <p>メンテナンスは適切にされていたか、耐用年数の確認、保守点検はされていたか、配管等の耐用年数は大丈夫なのか。ダメであれば建替え、長寿命化のメンテがされているのであれば、後30年かけて議論するとよい。</p>	<p>施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設当時からメンテナンスデータはありません。羽ノ浦小学校については長寿命化ではなく建替の方針であり、出来るだけ早期の建替を目指しています。施設の保守点検については、建築基準法12条に準じる定期点検を行っています。メンテナンスについては、阿南市内の学校施設の全体において予算の範囲内で優先順位を定め、行っています。
203	施設	<p>共栄病院跡地の取得について、なぜ行かなかったのか教えてほしい。取得ができなかったのか、議論の結果しなかったのか。議論の結果なら議事録も公開してほしい。もし買っていたら、羽ノ浦小学校、保育所、公民館に児童館、場合によっては中学校も移転できた土地であると考えてもったいないと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共栄病院跡地につきましては、公共施設用地としては、羽ノ浦小学校の建て替えをはじめ、羽ノ浦支所、羽ノ浦さくら保育所、羽ノ浦くるみ保育所等の各施設の老朽化対策と併せて検討を重ねた結果、各施設の方針が決定し、阿南共栄病院跡地を公共施設用地として活用する見込みがなくなったことから、本市が取得することはないとの結論に至ったものであります。(令和6年3月議会答弁)